

小方英理子 | eriko ogata | [instagram.com/eriko_ogata](https://www.instagram.com/eriko_ogata)

1982年 東京都生まれ

2005年 武蔵野美術大学造形学部 工芸工業デザイン科 テキスタイルコース 卒業

2005年 - 2007年 NY 滞在 Greenwich House Potteryにて陶芸での制作活動を開始

2013年 アクセサリーブランド eriko ogata を立ち上げる

【個展】

2007年 Yu (NY)

2013年 「2010 - 2013」 / Dessin (東京・中目黒)

2014年 「Alphabet & Portrait」 / FALL (東京・西荻窪)
DESPERADO (東京・渋谷)

2015年 「Two Triangles, a Hexagram」 / FALL (東京・西荻窪)

2016年 「eriko ogata」 / FALL (東京・西荻窪)

「Crossed Fingers」 / Hasu no hana (東京・鶯の木)

「Crossed Fingers」 / Dessin (東京・中目黒)

2017年 「Cabinet」 / FALL (東京・西荻窪)

【グループ展・他】

2006年 Greenwich House Pottery (NY)

2015年 「馬と馬具にまつわる展覧会」 / アノニム・ギャラリー (長野)

2016年 「アーティストのブローチ展」 / Hasu no hana (東京・鶯の木)

「シンボルの裏側」 / Earth + Gallery (東京・木場)

2017年 「Cocobolo Salon Gallery Group Show」 / Cocobolo Design Gallery (NY)

「Dialogue in Silence」 / Hasu no hana (東京・鶯の木)

「Architectual Digest Design Show」 / Pier 92 & 94 NYC(NY)

「SICF18」 / (東京・青山)



※「Crossed Fingers」出品作 本展には出品されません。



「記憶の標本 / flower」
2017年 磁器 96.0×78.0×6.5(cm)

『DOLLS』 Eriko Ogata exhibition



DOLL#5
2017年 黒泥土 32.5×11.5×10.0(cm)

at Gallery Hasu no hana

2018/1/14-2/4

Gallery Hasu no hana では2018年1月14日～2月4日まで当ギャラリー2回目の個展となる小方英理子の展覧会『DOLLS』を開催いたします。

武蔵野美術大学でテキスタイルコースを卒業後、ニューヨークに渡り陶芸を学んだ小方は、人体解剖図から夢想したシリーズ、人と家畜の歴史などをテーマに馬、羊、山羊、ロバなどの動物をモチーフに取り入れ、「記憶をとどめる方法」、「素材と生き物の境界線」を掘り下げ、黒泥土や磁器によるタイル作品や、人物をモチーフにした立体作品を制作してきました。

近年は、出産の経験や、育児の中で芽生えた感情、また子供が遊びとして行っている行動に人間の本能のようなものを見だし、それらの小さな発見は作家にとって想像の源となり、子供の成長が反映するように、作品のテーマも少しずつ変化してきました。

個展『crossed fingers』(2016年開催)では、誰もが持つ、祈りのような気持ちをテーマに発表をしましたが、本展でも太古の昔から人びとの中に流れる慈しみや甲斐の気持ち、大切なものが増えるほどに不安も募り、それに打ち勝つために何かを形にする行為などを、『crossed fingers』とも共通する人が人を、動物を、物を、何かを愛おしいと想う根源的な気持ちを陶器の人形にしたシリーズ『Dolls』を発表いたします。

本展では erikoogata のピアスやブローチ、『DOLLS』の小冊子の販売他、これまであまり展示することのなかったドローイングも発表いたします。

小方英理子展『DOLLS』

2018年1月14日(日)～2月4日(日)

open: 月・火・土・日 12時～18時

水 15時～22時

close: 木・金

入場料: 400円(高校生以下無料)

問合せ: e-mail hasucafe@sw.sub.jp

tel: 03-3759-8470

HP: www.hasunohana.net

会場: Gallery Hasu no hana

アクセス: 東急多摩川線鶉の木駅より徒歩1分。改札を出て左方向へ進み、

交番のある信号を渡りさらに左に進み、長屋商店の5軒目です。



ERIKO



DOLLS - 陶器の人形 -

一歳の誕生日、娘に人形を贈った。

羊毛と布を使い、夜中に隠れて作った赤毛の女の子。

その日から娘は小さなお母さんになった。

アザラシの毛皮を着たエスキモー人形。

ビーズ刺繍のブーツを履いた三つ編みのインディアン人形。

木彫りの体に布を巻きつけただけのアフリカの人形。

ピロードのドレスがふわりと広がる陶器の人形。

旅先の博物館で見たとても古い人形達。

ガラスケースの前で、彼らの昔に想いを馳せる。

人形を作る時の不思議と穏やかな気持ち、おまじないのような想い。

そして、誰に習う訳でもなく、上手にごっこ遊びを始める子供達。

それはきっと、いつの時代も変わらぬ人間の本能かもしれない。

その昔、大海原へ向かう大切な人を守るため、進化を続けた編み模様の数々。

全てを包み込む編み模様は、果てしない不安をかき消すためのおまじない。

小方英理子